



令和3年3月15日発行

No.12

私たちは、生徒の「夢・挑戦・自立」を応援します

## 思うは招く

校長 齋藤直樹

植松努さんは、北海道赤平市にある社員二十名ほどの小さな工場の社長さんです。パワーショベルに取り付けるマグネットを製作している工場ですが、もう一つ宇宙開発に取り組んでいます。それは、植松さんの子供の頃からの夢でした。その夢を諦めることなく、小さな工場で高度3500mまで到達するロケットや人工衛星の開発に成功しました。ロケットエンジンの開発では、エンジンが爆発して何度も失敗したそうです。それが何回も続くと実験するのも嫌になってしまうということでした。それでも諦めずに続けた結果、今では、この小さな工場に、NASAやJAXAからも人が訪ねてきて職場を見学していくということです。

植松さんは、小学生の頃、担任の先生に「お前の夢なんか、できるわけがない」って、散々言われたそうです。では夢って何？今できないことを追いかけるのが夢ではないのでしょうか。植松さんは「どうせ無理」という言葉は、人間の自信と可能性を奪ってしまう最悪の言葉だと言っています。それは人間が生きていくためには、どうしても自信が必要だからです。でも「どうせ無理」という言葉で、未来を諦めさせられてしまった人たちは、自信を失ってしまうと言います。

「思うは招く」この言葉は、植松さんのお母さんが、中学生の時に教えてくれた言葉で「思ったらそうなるよ」という意味です。つまり、思い続けることが大事だということです。生まれた時から、諦め方を知っている人間なんてこの世に一人もいません。皆さんは全員諦め方を知らないで、輝いて生まれてきたのです。ところが、失敗をマイナスだと思っている大人が増えてきて、その人たちが、みんなの可能性と自信を奪ってきたのです。確かに子どもに失敗させないようにしてきたり、子どもに任せきれずに、手出しをしてしまったりしたこともあります。でも子どもに任せて、やらせて、失敗させて、本人が反省して、改善して、またやってみて、また失敗する、という経験の繰り返しが本当の成長に繋がります。人間が生きていく上で大事なことは、できなかったことができるようになることです。そのためには、思い続けることです。手を変え品を変え、よりよい方法を探し続ける、そうやって夢を追い続けると、夢はきっと叶います。植松さんは「人生はぶっつけ本番だから失敗して当たり前。失敗した自分を、逃げた自分を、諦めた自分を責めないでください。へこまないでください。そんなこと必要ないのです。『ただいま成長中』という素敵な言葉を言えばいいのです。自分たちの自信を取り戻すためには、やったことがないことに挑戦しやってみること。そして『どうせ無理』じゃなく、『だったらこうしてみたら？』で夢は叶う」と言っています。お互いに夢を話して、お互いに『だったらこうしてみたら』と聴き合い、対話し、学び合うことで、全員の夢が叶うかもしれません。人の出会いには意味があるのです。一人では叶わずとも、互いに補うことで叶うこともあります。人は足りないから助け合えるのです。だからこそ、足りないことを馬鹿にせず、恥ずかしいって思う必要もないのです。成功する秘訣は、成功するまでやるということです。「夢・挑戦・自立」、生徒たちには目標や夢をもって、その実現に向けて挑戦し、日々コツコツと努力することを大切にしていってほしいと願っています。

終わりになりますが、今年度はコロナ禍の影響のため、あまりにも出来ないこと、我慢しなければならないことが多く、可能な限りできる教育活動に工夫して取り組んでまいりました。この3月も、全校挙げての作品展、1、2年生で進めている3年生を送るための様々な企画、3年生を中心に1、2年生と共に行っている校内整備や美化活動と、多くの生徒たちがボランティアとして意欲的に活動しています。生徒とその陰で支える教職員たちが一体になって「自分たちの学校を、自分たちの手でよりよい学校にしよう」と力を尽くしてくれています。コロナ禍でも、できることでその存在感を示し、後輩たちにしっかりと伝統を引き継いでいる3年生の姿に成長の跡と誇らしさを感じ、そのバトンが確実に後輩たちに受け継がれていることに嬉しさと安堵を感じています。

今年度は保護者・地域の皆様にとって、十分にご期待に添うものではなかったかもしれませんが、保護者・地域の皆様には、本校の教育活動を支えていただきましたことに深く感謝申し上げます。3年間お世話になり、ありがとうございました。生徒数・学級数が毎年減少し、益々小規模校になりますが、小規模校の強みを生かし、生徒・保護者・地域・教職員が「チーム花北」で一体となって、生徒に寄り添い、個々の能力を活かし伸ばす教育活動を推進してまいりたいと思います。生徒が生き生きと活動できる場面を多く取り入れ、生徒全員が笑顔で学校生活を過ごせるよう、チームワーク、フットワークの良い教職員一同で努力をしておりますので、引き続き、皆様方のご理解とご協力をよろしく願います。

## <3月4月の予定>

3月			4月		
日	曜	主な学校行事	日	曜	主な学校行事
16	火	避難訓練	1	木	
17	水	卒業式予行	2	金	新入生指導
18	木		3	土	
19	金	卒業式	4	日	
20	土	春分の日	5	月	春季休業日終了
21	日		6	火	始業式・着任式
22	月		7	水	第44回入学式
23	火		8	木	
24	水	保護者会	9	金	保護者会
25	木		10	土	土曜授業 部活動紹介
26	金	春季休業日開始	11	日	
27	土		12	月	
28	日		13	火	区 学力調査
29	月		14	水	専門・中央委員会
30	火		15	木	区中研一斉部会
31	水		16	金	避難訓練

※コロナウィルスの感染状況によっては予定が大幅に変更となることもあります。

### 3年生進路一覧

公立									
令和3年3月2日現在									
	江北	足立	足立西	足立新田	湍江	青井	足立東	深川	小松川
男	1	4	1		6	3			1
女	1	4	3		4	1	1	1	
	科学技術	産技高専	工芸	浅草					
男	1	1							
女			1	1					
私立									
	北豊島	下北沢成徳							
男									
女	1	1							



3月5日に作品展示発表会を行いました。1,2年生は上級生の作品の完成度に感心していました。そして、伝統のモザイクアート。3年生の集合写真を作りました。卒業式まで、昇降口に展示してありますのでぜひご覧ください。



3年生の球技大会。男女混合チームでのドッチボール。やわらかいボールを使ったので、男子も遠慮なく力いっぱい投げられました。中学校生活の良い思い出となったのではないのでしょうか。



開かれた学校づくり協議会から、今年一年行事をほとんどできなかった3年生にせめて門出となる卒業式にきれいな花で送りだしてあげたい、と校庭の花壇にパンジーを植えました。1,2年のボランティアの皆さんと一緒に楽しく植えました。
